

社団法人日本新体操連盟

平成19年度第1回理事会議事録

1. 会議名： 平成19年度第1回理事会
2. 日時： 平成19年5月9日（水）19時00分～20時30分
3. 場所： 東京都港区西麻布3-2-32 「麻布霞会館・201号室」
4. 構成員現在数： 21名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長） 朝倉 正昭（副会長） 福本 隆（副会長）
荒井 隆（専務理事） 石崎 朔子（常務理事） 渡辺 守成（常務理事）
池田真喜子（理 事） 岩本 晃（理 事） 岡 久留実（理 事）
橋本 千波（理 事） 山崎 浩子（理 事）
高橋 明（副会長） 関田史保子（常務理事） 秋山エリカ（理 事）
上村 郁子（理 事） 谷口 裕代（理 事） 谷原 誠（理 事）
田中 元（監 事） 横田 章（監 事）
以上19名（うち委任状出席8名）
6. 欠席役員： 崇島 慎一（理 事） 藤島八重子（理 事）
以上2名
7. 議案：
決議事項
第1号議案 平成19年度第1回総会について
(定款第5条、第5章、第39条関連事項)
第2号議案 平成18年度功労賞・最優秀選手賞について
第3号議案 その他
8. 議事の経過及び結果
(1) 議長による開会宣言
 (社)日本新体操連盟・定款第24条第2項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。
(2) 議事録署名人の選出
 定款第32条により、議長は議事録署名人を荒井隆専務理事と橋本千波理事にする事を議場に諮り承認された。
(3) 定足数の確認
 定款第25条の定めにより、総会出席者数委任状含めて21名であることが池田理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) 決議事項

第1号議案 平成19年第1回総会について（定款第5章関連事項）

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

まず、平成18年度の事業報告並びに収支決算を承認する第1回総会が

5月31日（木） 「霞会館」東京都港区西麻布3-2-32

11時 総会

12時 昼食会

13時30分 特別セミナー

の予定にて開催されることが説明された。

続いて平成18年度登録状況が資料とともに説明され、

加盟団体数 511団体

登録選手数 8,357人

愛好者数 33,378人

登録審判数 1,005人

登録指導者数 1,332人

と報告された。また、県別での登録状況が資料にて報告され、47都道府県の内佐賀県だけが登録されていなかったことがあわせて説明された。

質疑・報告

1. 二木会長より佐賀県の新体操活動状況が質問され、岡理事が佐賀県内でも「かささぎ杯」といった大会を開催するなど新体操は活発に行われており、年度の事情により登録されなかったことが想像され、年度によっては登録されるであろうことが説明された。

つづいて、平成18年度の事業として、

「第15回全日本新体操クラブ選手権」が

平成18年8月22日から24日にかけて「東京体育館」にて開催され、過去最多の206クラブ618名の参加があったこと、また、15回大会から座席チケット制を導入したことが報告された。その他、大会結果、模様は資料にて報告された。

質疑・報告

1. 質疑・報告はなかった。

つづいて、「第6回全日本新体操クラブ団体選手権」が

平成18年9月10日に「東京体育館」にて開催され、過去最多の100クラブチーム646名の参加があったこと、また、6回大会から座席チケット制を導入したことが報告された。その他、大会結果、模様は資料にて報告された。

質疑・報告

1. 二木会長より大学生のチームは参加していないのか質問がされ、岡理事が大学生の選手はいるが、大学生だけのチームが組めるクラブは現状ないことが説明された。

つづいて、「イオンカップ 2006 世界新体操クラブ選手権」が平成 18 年 11 月 15・16・19 日に三重県「三重県営サンアリーナ」F I G 主催「第 6 回新体操ワールドカップファイナル」と同時開催され、17 カ国 19 クラブチーム 57 名の参加があったこと、視聴率が例年に比べ 4.8%と比較的良かったことが報告された。その他、大会結果、模様は資料にて報告された。

質疑・報告

1. 質疑・報告はなかった。

つづいて、「第 9 回全日本新体操チャイルド選手権」並びに「第 6 回全日本新体操キッズコンテスト」が

平成 19 年 2 月 23 から 25 日に「東京体育館」にて開催され、過去最多の参加人数 374 クラブ 892 名の参加があったこと、また、前回大会参加者より、フロア配置に意見を頂き今年より変更したが、好評を頂いたことが報告された。その他、大会結果、模様は資料にて報告された。

質疑・報告

1. 二木会長より、小学生選手の団体戦はできないものか提案され、岡理事より手具を使わない徒手団体戦なら可能であることが説明された。参加者にとって良いことであるならば開催できるよう検討することとなった。

つづいて、「平成 18 年度セミナー」が

初級集中講義 3 回
上級セミナー 6 回
海外セミナー 2 回
審判セミナー 3 回

開催されたことが報告された。18 年度は海外セミナーが初級「ブルガリア」上級「ベラルーシ」にて開催され、前年度に比べて参加者が増えたことがあわせて説明された。その他、各参加人数、日程は資料にて報告された。

質疑・報告

1. 二木会長が審判セミナーと関連して、国際審判の数に触れ、国際審判の制度と日本からの選抜方法が質問され、岡理事より、国際審判は 4 年に 1 度試験があり、そこで人数が決まるので、日本新体操連盟への登録はその年度ごとに登録したかしなかったかの違いだけである。オリンピックおよび世界選手権の審判を行うのは F I G プールジャッジに選ばれれば必要があり、1 各国から最大 2 名までと F I G で決まっていることが説明され、日本からの国際審判員選出方法など検討することが確認された。

つづいて、「平成 19 年度第 1 回総会」資料として平成 18 年度の功労賞ならびに最優秀選手賞の授与が報告される予定で、本理事会「第 2 号議案」にて決定することを確認し、「平成 19 年度第 1 回総会」事業報告の説明が終了した。

質疑・報告

1. 以上の経過の後、事業報告に関して質疑・報告はなかった。

つづいて「平成 19 年度第 1 回総会」収支決算報告について池田理事より引き続き説明された。

まず、収支決算報告書について、予算と大きな差異があるところを説明することが告げられ、

1. 預金利息について、金利の上昇および定期預金の運用により、予算 4,000 円のところを 30,998 円となった。
2. 会費入会金収入について、前年度 479 団体より、18 年度 511 団体と登録数が純増し、予算 9,500,000 円のところ 11,251,332 円となった。
3. 事業収入について、
「日本新体操」が「イオンカップ」の「ワールドカップファイナル」と同時開催のため、開催されなかった。
「バッジテスト」「審判員資格講習会」は開催予定であり、予算を組んでいたが、延期となり、未開催のため収入なし。
「全日本新体操チャイルド選手権」「全日本新体操クラブ選手権」「全日本新体操クラブ団体選手権」は過去最多の参加者を集めたこと、並びに入場料収入が収入を押し上げ、20,838,282 円、13,707,067 円、6,590,640 円と予算より増収となった。
「イオンカップ世界新体操クラブ選手権」は予算に比べ、広告収入があったため、予算 138,000,000 円のところ、収入 186,739,160 円となった。
「指導者海外研修」について、参加者が前年度に比べ、倍近く増えたため、予算 4,000,000 円から 7,736,000 円の収入となった。
4. 補助金収入について、笹川スポーツ財団より「SSF スポーツエイド」助成を受けているがこの助成の制度が 5 ヶ年計画ため、年度を追って助成が減額され、18 年度は 800,000 円となった。

以上により、当期収入合計が 251,889,979 円となり、前期繰越 17,015,524 円を合わせ 268,905,503 円の収入合計となった。

つづいて、支出にについて

1. 事業費について、
「全日本チャイルド選手権」では、参加者増による、製作物の増加、警備員の配置などにより、予算 10,300,000 円より、12,859,771 円の支出となった。
「全日本クラブ団体選手権」では、参加者増したが、経費削減が成功し、5,091,158 円の支出
「イオンカップ世界新体操クラブ選手権」は三重県開催による、宿泊費、移動費、食費の増加などにより 189,804,295 円の支出
「指導者海外研修会」では、人数増加、渡航先の物価、為替負担の増加により 6,752,803 円の支出
「国内競技規則研究会」についてはバッジテスト資料作成会議により、460,017 円の支出
2. 管理費について
「事務用品費」では、備品管理により、予算より抑えた 1,762,127 円の支出。

以上により、262,488,275 円の当期支出合計となり、次期繰り越しが 6,417,228 円となったことが報告された。

質疑・報告

1. 福本理事より、競技会開催収入で増収の原因として入場料収入を、指導者海外研修会に参加者増と備考欄に記載することが勧められ記載することとなった。

以上により、「平成 19 年度第 1 回総会」報告事項についての説明、質疑・報告が行われ承認可決された。

第 2 号議案 平成 18 年度功労賞・最優秀選手賞について（定款第 5 条関連事項）

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

平成 18 年度が終了し、18 年度の功労賞・最優秀選手賞の該当者を選抜いただきたい。

前年度は、福本 隆現副会長が功労賞に、最優秀選手賞は該当者なしであった。

協議した結果、「世界新体操クラブ選手権」を初期より大会開催趣旨にご賛同いただき、スポンサーとしてばかりでなく、キヤノン・フォトジェニック賞を作り大会を盛り上げて頂いた、

現キヤノンマーケティングジャパン株式会社相談役 武本秀治 様
を功労賞に

「第 15 回全日本新体操クラブ選手権」個人総合 4 連覇を成し遂げた
イオン 横地 愛 選手
を最優秀選手賞にすることで承認可決された。

第 3 号議案 その他について

- ①二木会長より、社団法人日本新体操連盟設立 5 年目を迎えることもあり、加盟者と一致団結するためにもパーティを開催してはどうかと提案され、開催方法を検討することとなった。

(6) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 19 年 5 月 9 日

社団法人 日本新体操連盟 平成 19 年度第 1 回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 荒 井 隆

同 橋 本 千 波